

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 5月 13日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-8	
日石横浜ビル	
氏 名 レイズネクスト㈱ プロジェクト事業部	
事業部長 斎藤 勝彦	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 045-415-1127	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	レイズネクスト㈱ENEOS知多メガソーラー発電所建設工事
事業場の所在地	愛知県知多市北浜町25番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 29.9億円
③ 従業員数	8名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre> graph LR A[プロジェクト事業部] --- B[安全・品質統括部] A --- C[プロジェクト2部] C --- D[PM] D --- E[現場所長] C --- F["産廃処理委託先の選定 産廃処理委託契約の締結"] E --- G["産廃の適正管理 マニフェスト管理"] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙-2の通り			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) コンクリート殻、がれき類の産業廃棄物に関しては、置き場に囲いを行い種類・品目を掲示する。 また、コンテナを設置し種類・品目を明記し、分別に努めている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の取組に加え、資材搬入用の木パレが発生するため、置き場を明確にする。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

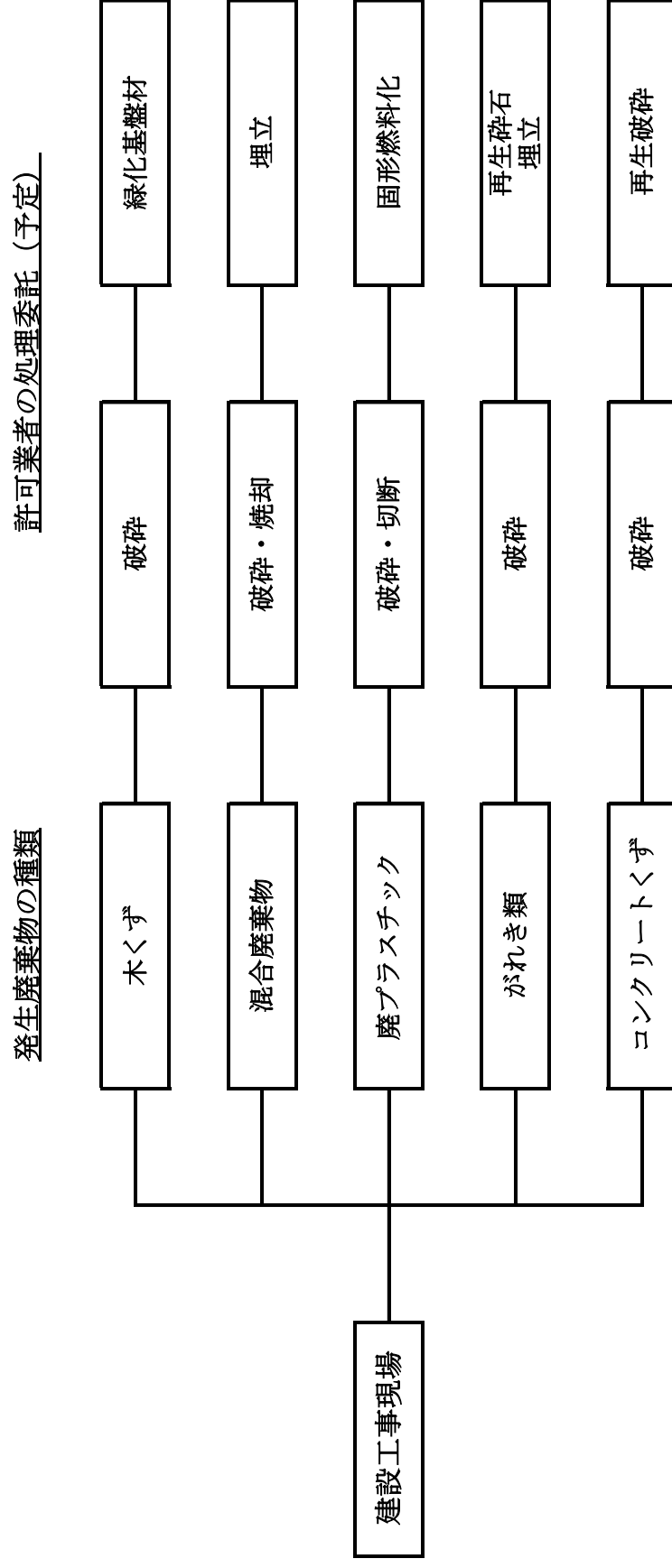
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙-3の通り			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和6年度）実績】					
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスコン殻	建設混合廃棄物	廃油	がれき類
	排出量 (t)	1, 436. 75	160. 98	10. 85	4. 5	351.91
	(これまでに実施した取組) 造成土量内から産業廃棄物が多量に見つかった。 すべてを混合廃棄物として取り扱わず、細かく分別作業を実施した。					
	【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類		
	排出量 (t)	150	30	20		
	(今後実施する予定の取組) 今年度は資材搬入用の木パレットにより、木くずの廃棄量が増大することが見込まれているため、木材をチップ化し再資源化可能な中間処理会社へ委託し、最終処分量の削減を図る。分別をしっかりと行い、他の産業廃棄物に分類できる場合は分類を実施する。					

(別紙一3)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】						
	産業廃棄物の種類(t)	コンクリート殻	アスコン殻	建設混合廃棄物	廃油	がれき類	
	全処理委託量(t)	1,436.75	160.98	10.85	4.5	351.91	
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	10.85	4.5	351.91	
	再生利用業者への処理委託量	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—	—	—	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—	—	—	

(これまでに実施した取組)
造成土量内から産業廃棄物が多量に見つかった。
すべてを混合廃棄物として取り扱わず、細かく分別作業を実施した。
廃棄物の処理委託として、優良認定処理業者へ依頼するよう対応した。

	②計画	【目標】						
		産業廃棄物の種類(t)	木くず	建設混合廃棄物	廃プラスチック類			
		全処理委託量(t)	150	30	20			
		優良認定処理業者への処理委託量	—	30	25			
		再生利用業者への処理委託量	150	—	—			
		認定熱回収業者への処理委託量	—	—	—			
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—	—			

(今後実施する予定の取組)
今年度は資材搬入用の木パレットにより、木くずの廃棄量が増大することが見込まれているため、木材をチップ化し再資源化可能な中間処理会社へ委託し、最終処分量の削減を図る。